
ユーザ・カスタマイズ・モニタのコンパイル方法について

(第2版)

Copyright (C)2014 株式会社コンピューテックス

目 次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 開発環境のセットアップを行う..... | 1 |
| 1.1 Web からダウンロードを行う..... | 1 |
| 1.2 インストールを開始する | 4 |
| 2. モニタ・プログラムのコンパイルを行う | 9 |
| 3. 使用上の注意事項 | 12 |

本書では CSIDE に添付しているユーザ・カスタマイズ・モニタのコンパイル方法について説明していきます。内容としては、開発環境のセットアップやプロジェクト・ファイルのコンパイル手順についてです。基本的な流れを説明するものですので、設定等の詳細については、各開発環境のマニュアルを参照してください。

本文では、ARM 環境について説明していきます。

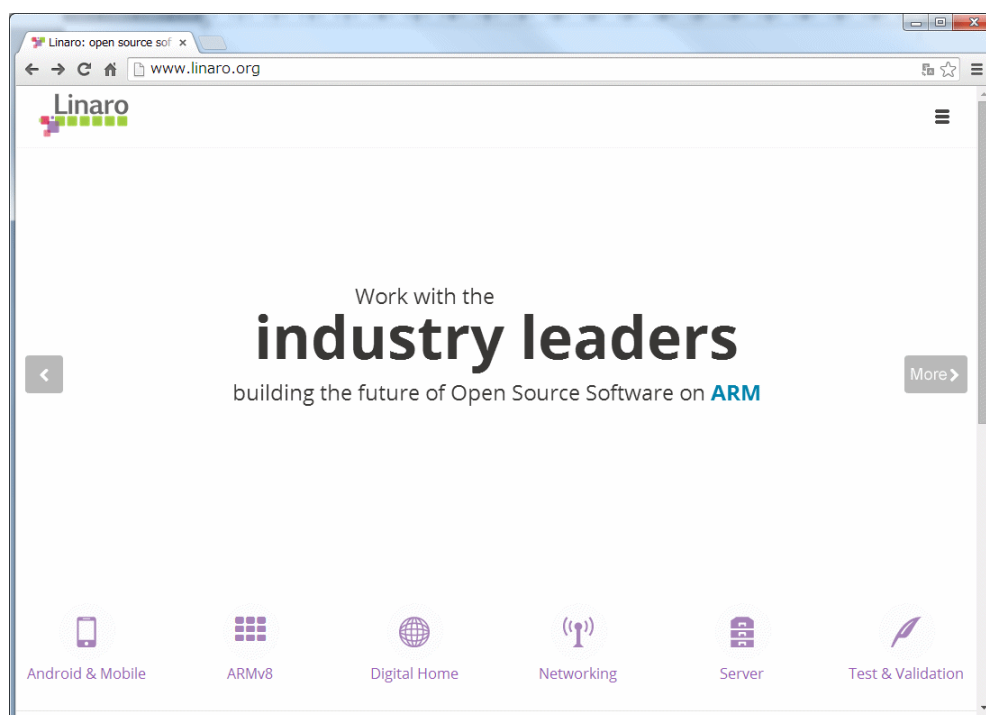
なお、ユーザ・カスタマイズ・モニタを使用したデバイスへの書き込み/読み込み機能や基本的な使い方については「ユーザ・カスタマイズ・モニタ機能の使用方法について.pdf」をご参照ください。

1. 開発環境のセットアップを行う

ARM の開発環境としては、GNU C コンパイラのプロジェクト環境が用意されています。下記では Linaro を使用する場合を例として説明していきます。

1.1 Web からダウンロードを行う

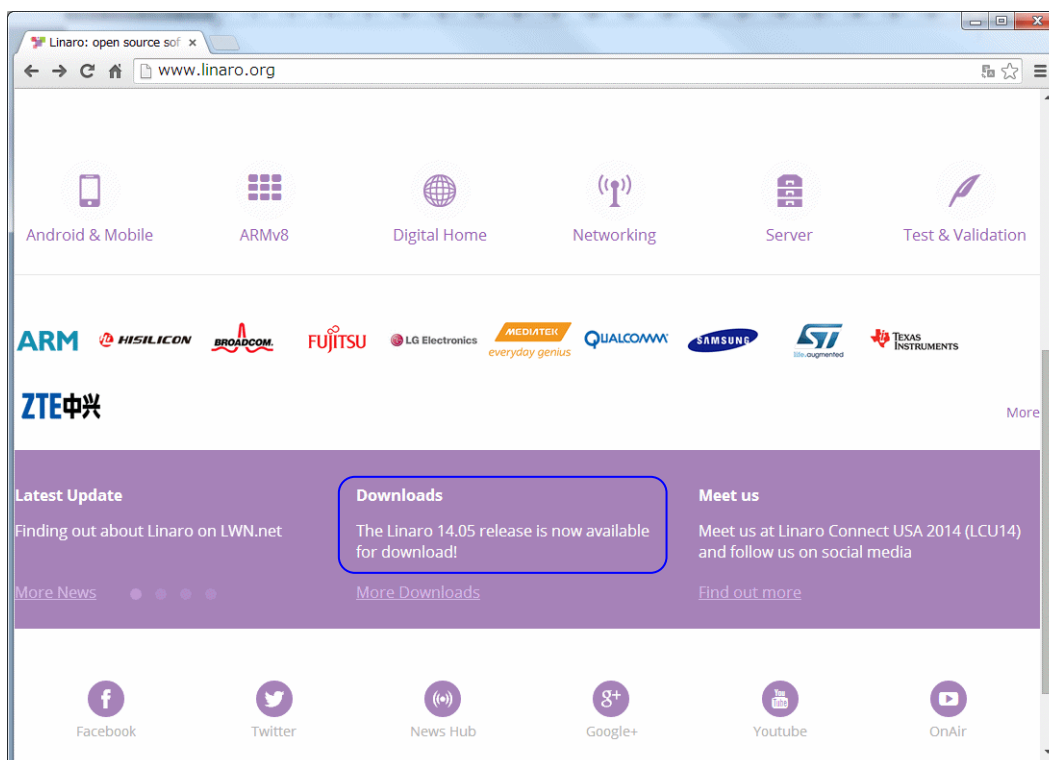
はじめに、Linaro のインストールを行うため、ブラウザから Linaro のホームページ (<http://www.linaro.org/>) を表示します。



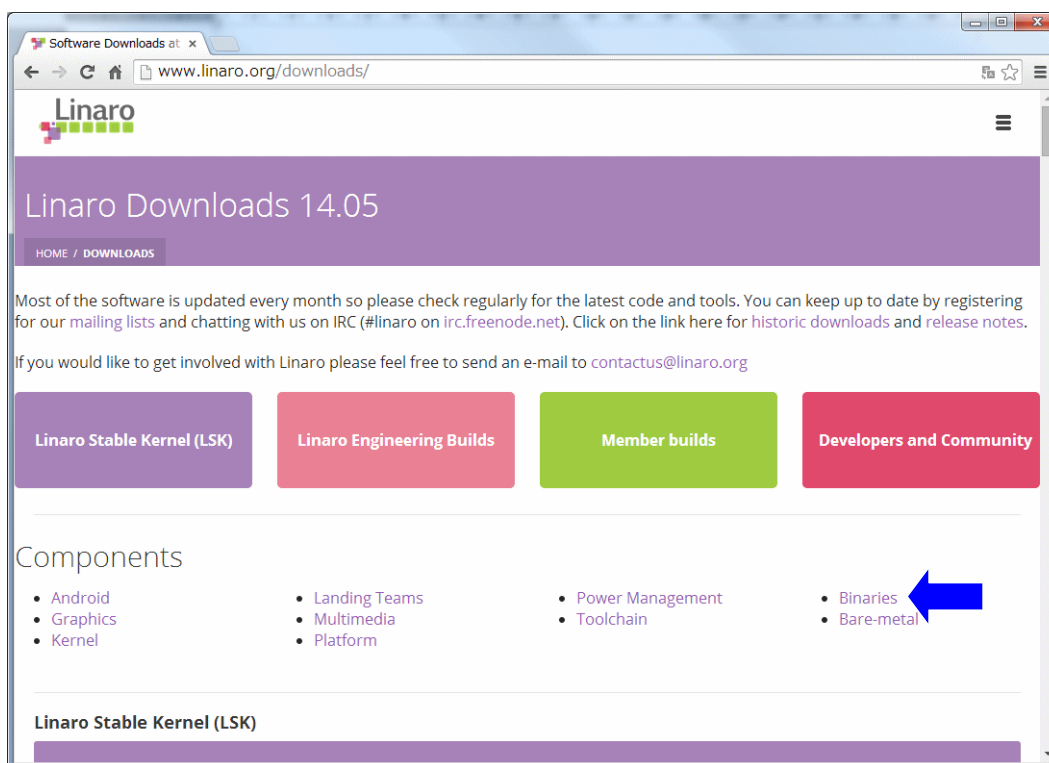
NOTE

Linaro のホームページの表示内容は変更される可能性がありますので、ご注意ください。

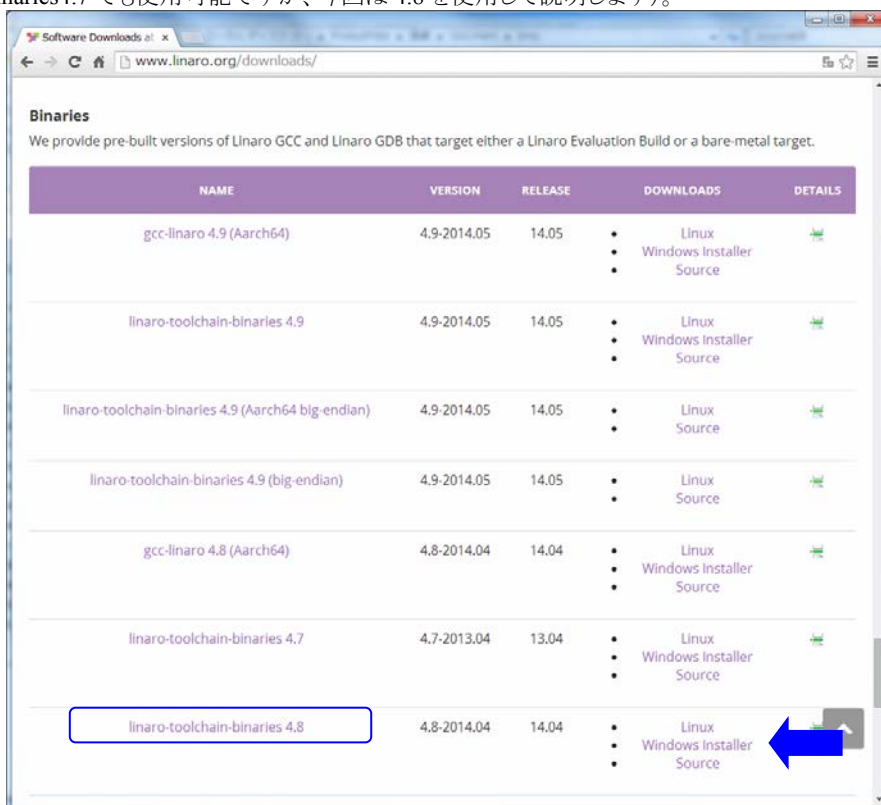
ホームページの下に移動すると「DownLoad」が表示されます。その下のリンクを選択するとダウンロードページに移動します。



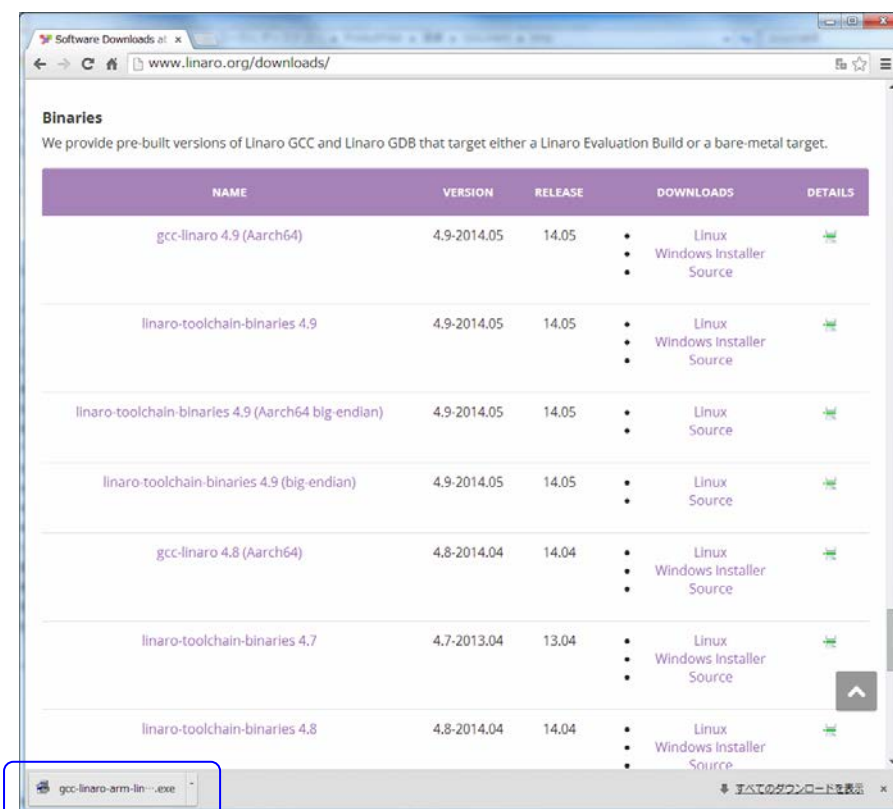
ダウンロードページの「Components」で「Binaries」を選択し、(下に)移動します。



「Binaries」項目の「linaro-toolchain-binaries4.8」の「Windows installer」を選択してダウンロードします
(linaro-toolchain-binaries4.7 でも使用可能ですが、今回は 4.8 を使用して説明します)。

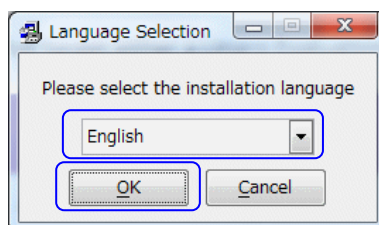


ダウンロードが完了すると、ダウンロードした「gcc-linaro-arm-linux-gnueabi-4.8-2014.04-20140416_win32.exe」を実行して、セットアップを開始します。

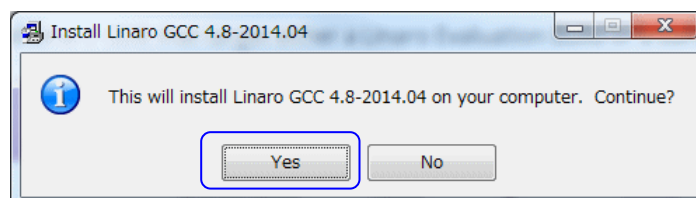


1.2 インストールを開始する

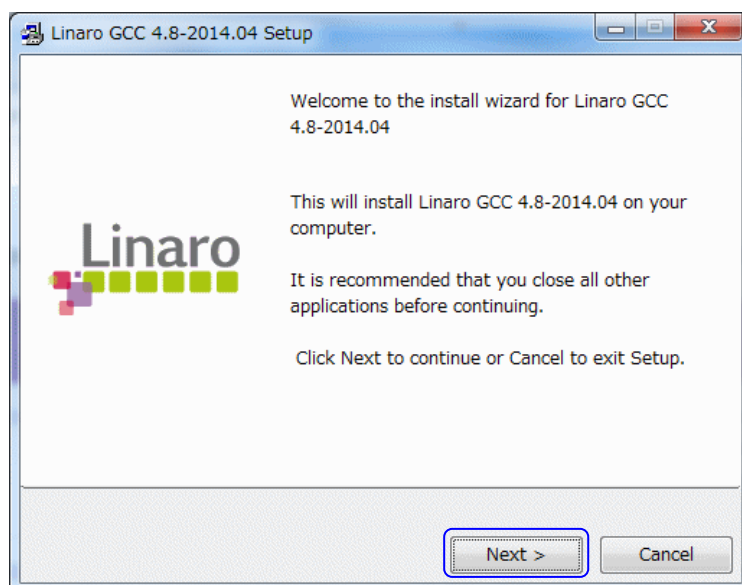
ダウンロードした「gcc-linaro-arm-linux-gnueabihf-4.8-2014.04-20140416_win32.exe」を実行すると言語選択画面が表示されます。「English」を選択し、[OK]ボタンを押します。



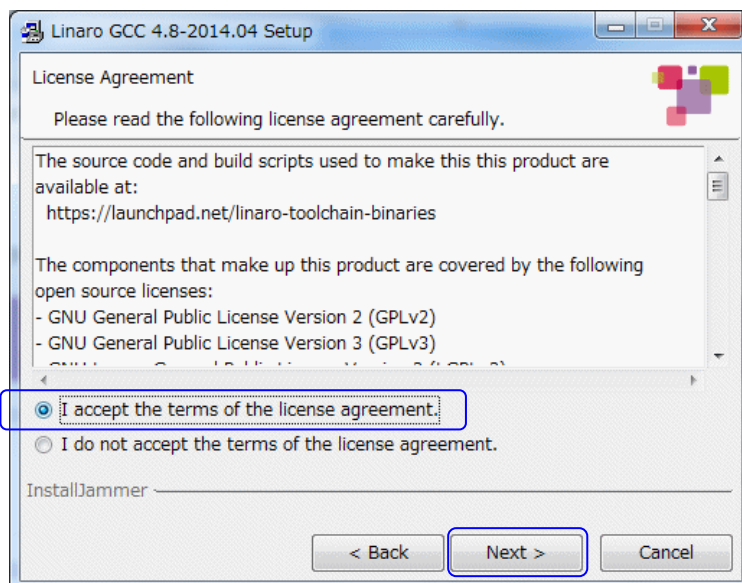
インストール確認メッセージが表示されるので、[Yes]ボタンを押します。



[Next>]ボタンを押して次のページに進みます。

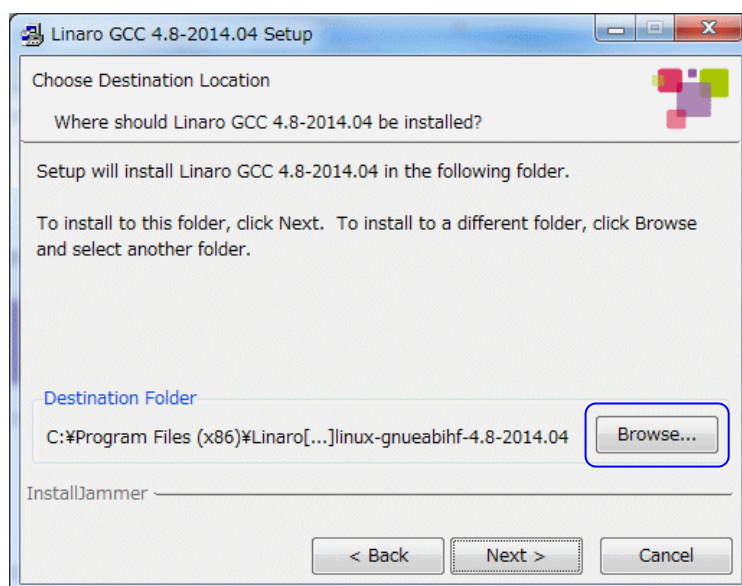


「I accept the terms of the license agreement」を選択し、[Next>]ボタンを押して次のページに進みます。

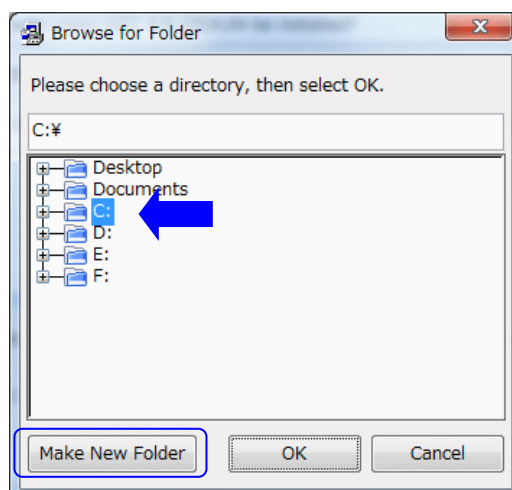


添付モニタのプロジェクト環境は、「C:\GccLinaro」フォルダで作成されているため、インストール場所を変更します。

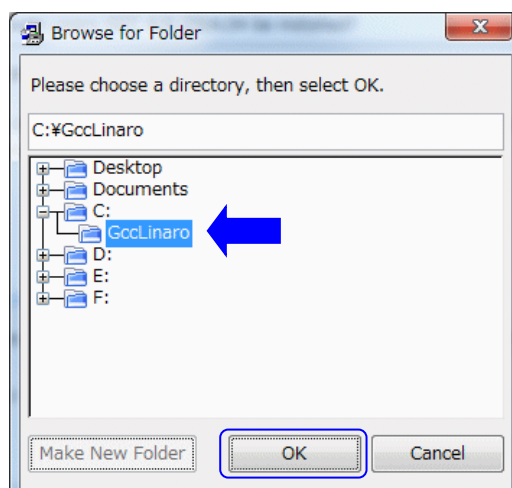
[Browse..]ボタンを押します。なお、他のフォルダ等にする場合は、モニタ・プログラムのプロジェクト側を変更してください。



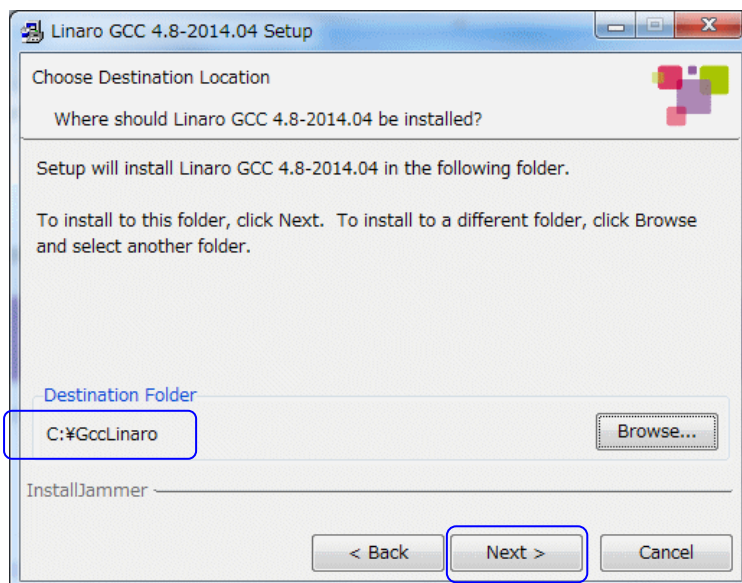
「C:¥」を選択し、[Make New Folder]ボタンを押します。



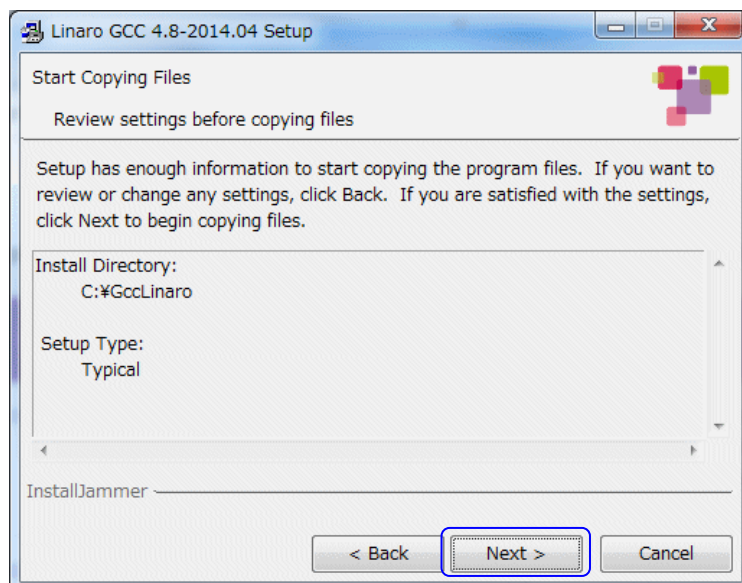
フォルダ名を「GccLinaro」にします。その後、[OK]ボタンを押します。



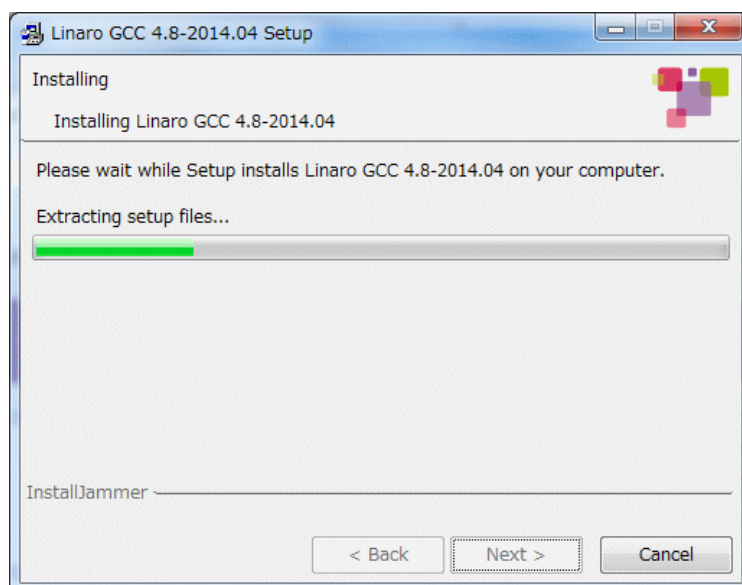
変更された表示「C:\GccLinaro」になった後、**[Next>]**ボタンを押して次のページに進みます。



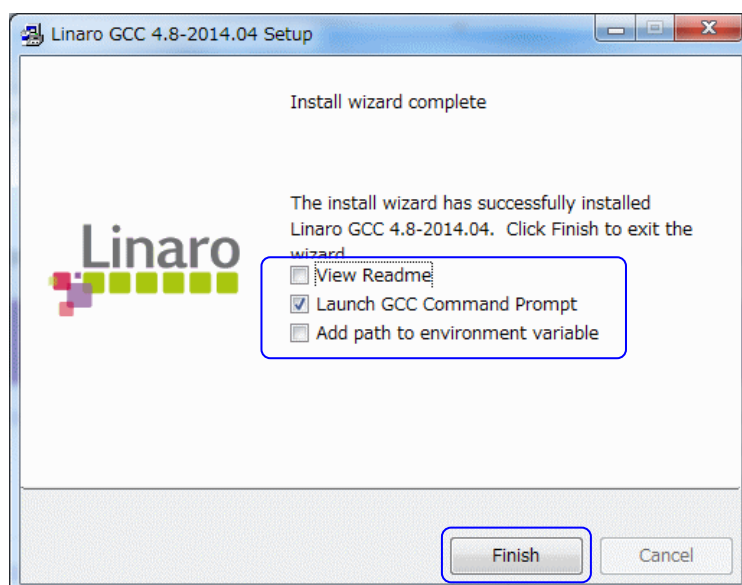
[Next>]ボタンを押して次のページに進みます。



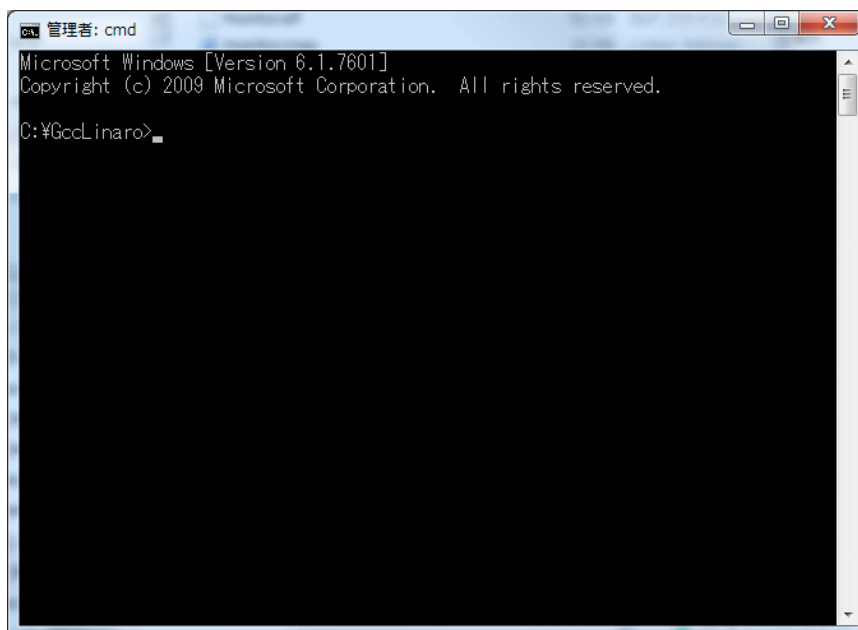
インストールが開始されていきます。



インストールが完了すると下記画面となります。「View Readme」のチェックは必要ありませんので、外して**[Finish]**ボタンを押します(他のチェックはそのままとします)。



EXE が終了すると、コマンドプロンプトが表示されます。



以上で開発環境のセットアップが完了となります。

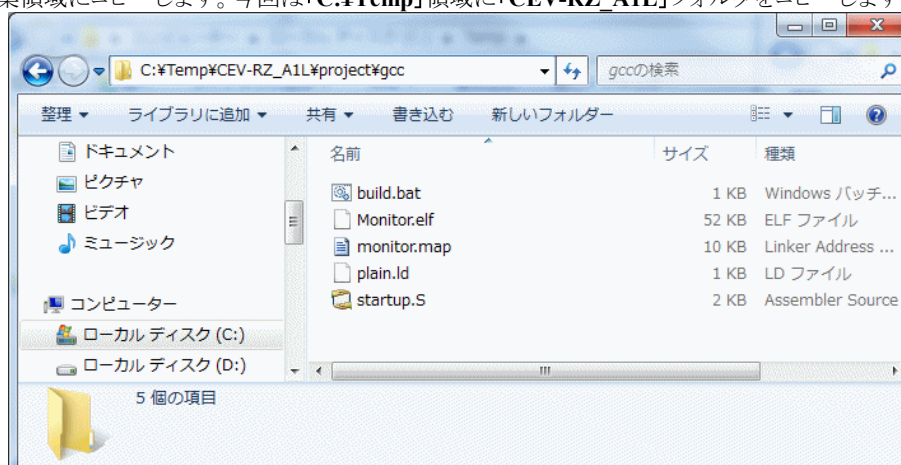
2. モニタ・プログラムのコンパイルを行う

前項でダウンロードした Linaro を使用して、CSIDE に添付のユーザ・カスタマイズ・モニタ・プログラムをコンパイルします。モニタ・プログラムは、CSIDE のインストール・フォルダの ETC¥[ICE 名]¥UCM フォルダにインストールされています。

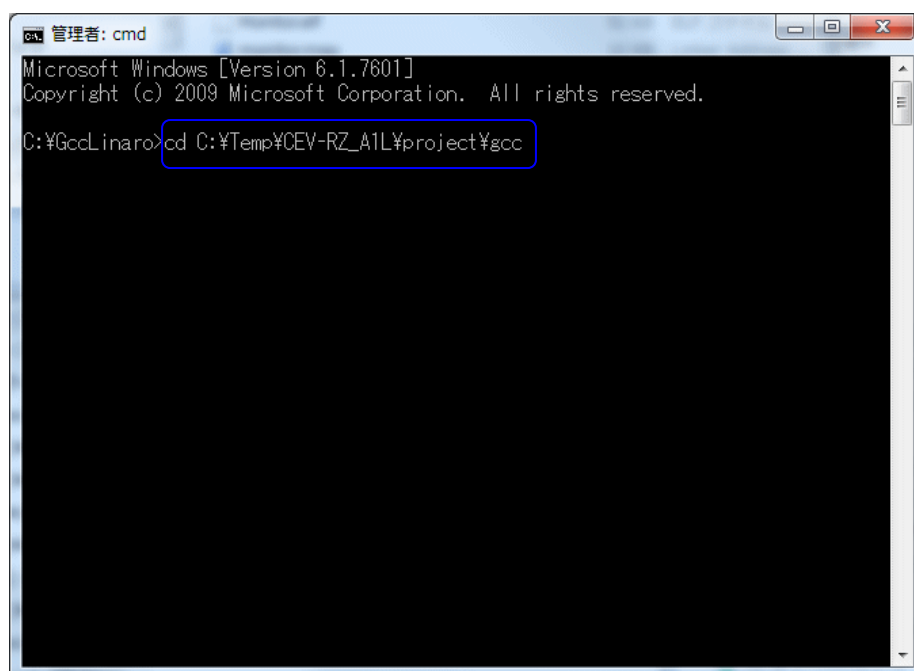
Info.

- PALMiCE3 ARM を使用される場合、Windows7 64bit では、「C:\¥Program Files(x86)\¥CSIDE¥PALMiCE3 ARM¥UCM」がデフォルトとなります。

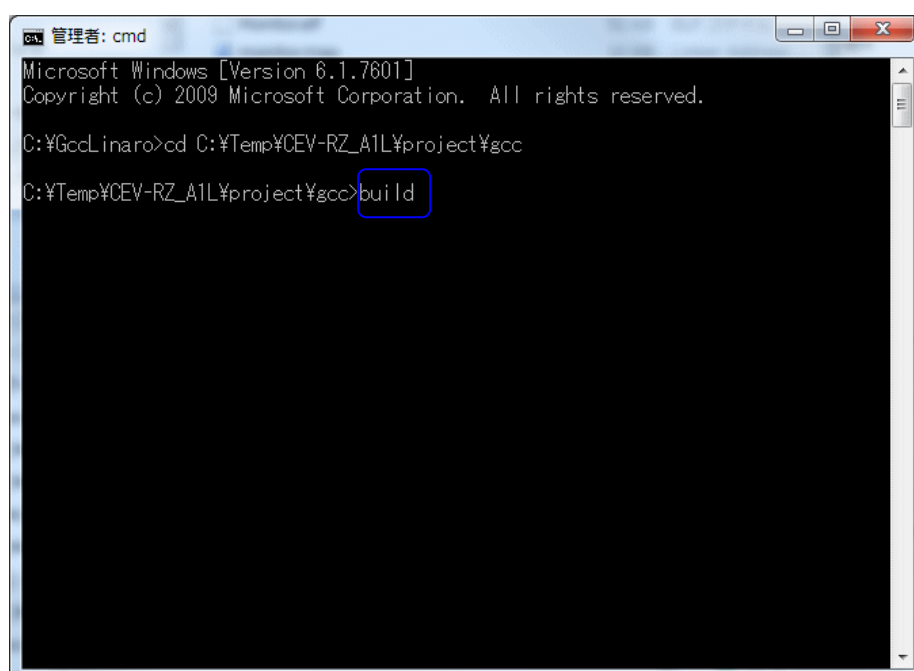
UCM 以下のフォルダに「CPU 名」のフォルダがあり、その下に「CPU ボード名」があります。CPU ボード名のフォルダ一式をコピーし、任意の作業領域にコピーします。今回は「C:\¥Temp」領域に「CEV-RZ_A1L」フォルダをコピーします。



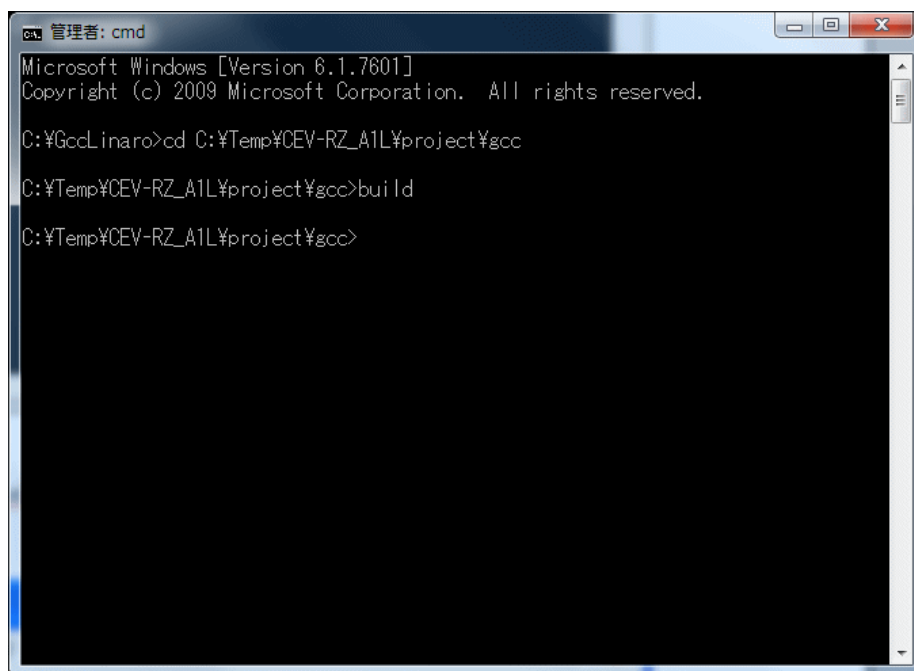
カレントディレクトリを作業領域に切替えるため、コマンドプロンプトで「`cd C:¥Temp¥CEV-RZ_A1L¥project¥gcc`」と入力します。



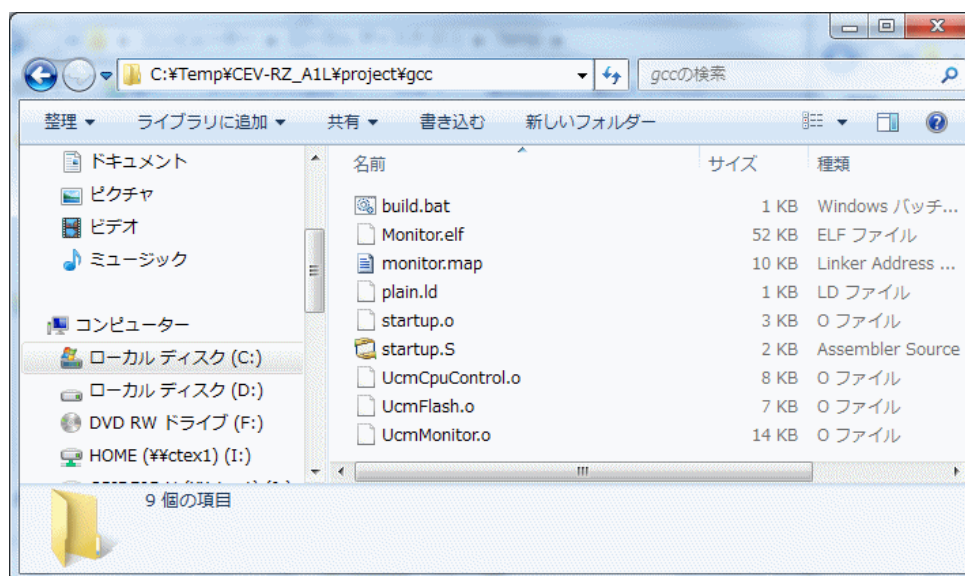
カレントディレクトリが切り替わった後、バッチファイルの「**build**」を入力します。そうするとコンパイルが開始されます。



正常にコンパイルが完了すると、エラーメッセージ等が出力されることなく入力待ちの画面となります。



そうすると作業フォルダのファイルが更新されます。



以上でコンパイルは完了です。以後は、「ユーザ・カスタマイズ・モニタ機能の使用方法について.pdf」や「ユーザ・カスタマイズ・モニタ・プログラムとデバッグ・コマンドについて.pdf」を参照してください。

3. 使用上の注意事項

- 本機能を使用したフラッシュメモリの書き込みの結果について当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機能の内容、および仕様に関しては信頼性、設計等々の改良により将来予告なしに変更することがあります。

-
- 本書の内容の一部、または全部を無断で使用することや、複製することはできません。
 - 本書の内容、および仕様に関しては将来予告なしに変更することがあります。
 - 本書は万全の注意を払って生産されていますが、ご利用になった結果について当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
 - CSIDE に関する著作権は(株)コンピューテックスに帰属します
 - CSIDE、PALMICE および COMPUTEX は、(株)コンピューテックスの登録商標です
 - その他本書で取り上げる会社名および製品名などは、一般に各メーカーの商標、または登録商標です。



株式会社コンピューテックス

本 社

〒605-0846 京都市東山区五条橋東 4-432-13 對嵐坊ビル
TEL:075-551-0528(代) FAX:075-551-2585

東京営業所

TEL:03-5753-9911(代) FAX:03-5753-9917

テクニカルセンタ

TEL:075-551-0373 FAX:075-551-2585

ユーザ・カスタマイズ・モニタのコンパイル方法について

2016 年 3 月 第 2 版

CX489(B)1603
